

電柱の二次被害対策について

令和2年 3月23日

電気事業連合会

1.電柱損壊事故における二次被害防止対策について(飛来物対策)

● 前回WGにおけるご指摘

- ✓ 電柱の損壊事故については、原因の大半が倒木や飛来物等による二次被害であったことを踏まえ、二次被害対策を強力に推し進めていく必要がある
- ✓ 各電力会社の取組を強化するために、二次被害対策に関する各社の取組事例を水平展開し、着実に実施していくことが重要

● 各社の飛来物対策PR活動（取組事例）の共有を実施済みであり、各産業保安監督部とも連携し台風シーズンに向けてPR活動の一層の強化に努めていく。

■ 飛来物対策PR活動の実施状況

実施済（●）、実施予定（□）

		北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄
メディア活用	TV			●	●	●	●	●	●	●	●
	ラジオ	□	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	新聞				●	●	●			●	●
発信社	SNS	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	HP、アプリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
社外組織との連携	定期調査時のリーフレット配布	□	□	□	□	□	□	□	●	●	●
	J A等 農業従事者へのチラシ配布	□	□	□	●	□	□	□	□	□	●
	各自治体と連携したPR	□	□	□	●	□	□	□	□	●	●
	各保安監督部と連携したPR	□	□	□	□	□	□	□	□	□	●

※2018年度台風21,24号以降に実施は青字、2019年度台風15,19号以降に実施は赤字

2.電柱損壊事故における二次被害防止対策について(倒木対策)

- 政府検証チーム会議（1/16）の中間とりまとめ等において、倒木対策として「電力会社・自治体の連携による事前伐採の推進」が整理されたところ。
- 各電力会社は、関係自治体と台風災害時等における倒木処理や道路復旧等の役割分担や連携方策について台風シーズン前までに確認することを目指し、事前伐採※も含め協議を進めているところであり、積極的に関係各所に働きかけていく。

※重要インフラ施設周辺森林整備事業を含む

➤ 各電力会社は41の自治体（都道府県）と協議中であり、残りの6の自治体についても早急（4月上旬目途）に協議を開始する。

➤ 事前伐採についても自治体との合意が得られた電力では、既に取り組を開始

⇒ 中部電力は管内4県下の一部自治体と連携し、事前伐採を実施中
また新たに三重県および大台町と事前伐採について合意

- 事前伐採は停電被害の未然防止だけでなく、倒木による道路閉塞等の交通インフラ等のレジリエンス強化にも効果的な取組であるため、地域住民のご理解を得るべく、関係自治体と連携し鋭意促進していく。

- 四国電力、九州電力および沖縄電力においては、**定期調査時に低圧需要家へ配布する「電気使用安全パンフレット」の中に、台風への備えとして、飛来物対策 P R を記載。**
- 定期調査は、電気事業法で定められており、全低圧需要家の電気設備の安全調査を、4年に1回一般送配電事業者から委託された登録調査機関が訪問調査している。なお、調査結果は紙面を以て通知しており、その通知に**「電気使用安全パンフレット」を同封する事で、全低圧需要家に対し広く P R することが可能であり、飛来物対策 P R に効果が期待できる。**

四国電力

九州電力

沖縄電力

8 地震・台風など、もしもの時に備えて

——電気安全のこころえ——

「グラッ!」と地震が発生したら

- 1 コンセントからプラグを抜いて!**
とくに電気ストーブやアイロンなどの熱器具は、火災の原因になるので、すぐにスイッチを切りプラグをコンセントから抜きましょう。
- 2 避難するときはブレーカーを「切」にして!**
家の外へ避難するときは、念のためブレーカーは必ず「切」にしましょう。

地震や台風等でこんなとき

- 3 切れた電線には絶対さわらないで!**
切れてたれ下がった電線には、絶対さわらないで下さい。電線に木や看板、アンテナなどが触れていると、電柱が倒れていると近づく四国電力送配電に連絡して下さい。
- 4 水につかった電気器具は使わないで!**
津波や大雨で水につかった電気器具(洗濯機、冷蔵庫、テレビなど)は、必ず電気店などで点検してから使しましょう。

台風シーズンをむかえて

- 5 アンテナはだいじょうぶ?**
アンテナが強風に倒れ、電線に触れると危険です。古いアンテナや風でよく揺れるアンテナ、また支線の切れているアンテナは、電気店に相談して早急に点検・修理してもらいましょう。
- 6 電線に物が掛かっていたら!**
強風でシート類やタンコン等が飛散し、電線に掛かり停電になる事例が発生していますので、台風シーズン前に点検・修理をお願いします。もし、電線に掛かっているものを見つけたらお近くの四国電力送配電へ連絡してください。

8 地震・台風・集中豪雨など、もしもの時に備えて。

停電への備え

災害・停電に備え、事前準備を



強風で飛ばされ電線をはるおそれがあるものは、あらかじめ固定を

停電時に必要なもの(例)

●携帯ラジオ ●懐中電灯 ●飲料水 ●乾電池 ●ため水(生活用水) ●携帯電話の充電器(電池式)

⚠ 普段から分電盤の位置を確認しておきましょう。[通断分電盤は玄関・台所・廊下・浴室・廊下等の上部に設置されています。]

電気安全のこころえ

「グラッ!」と地震が発生したら

- コンセントからプラグを抜いて
とくに電気ストーブやアイロンなどの熱器具は、火災の原因になるので、すぐにスイッチを切りプラグをコンセントから抜きましょう。
- 避難するときはブレーカーを「切」にして
家の外へ避難するときは、念のためブレーカーは必ず「切」にしましょう。

地震や台風等でこんなとき

- 水につかった電気器具は使わないで
津波や大雨で水につかった電気器具(洗濯機、冷蔵庫、テレビなど)は、必ず電気店などで点検してから使しましょう。
- 切れた電線は、絶対さわらないで
切れてたれ下がった電線には、絶対さわらないでください。電線に木や看板、アンテナなどが触れていると、電柱が倒れていると近づく九州電力配電事業所に連絡をお願いします。
- ガス漏れがあった場合、電気は使用しない。
ガスの漏れがする時は、ガスの使用を止めて、ガスを止め、窓を開けて、よりのガス事業所へご連絡ください。

地震・台風など、もしもの時に備えて

グラッ!と地震が発生したら...

(1) コンセントからプラグを抜きましょう。



とくに電気ストーブやアイロン等の熱器具は、火災の原因になるので、すぐにスイッチを切り、プラグをコンセントから抜きましょう。

(2) 避難するときはブレーカーを OFF 「切」にしましょう。



家の外へ避難するときは、急のためブレーカーを必ず OFF 「切」にしましょう。

台風シーズンをむかえて

(1) はがれそうなタンやデントは堅固に固定しておきましょう。



タンやデント及び看板等は風に飛ばされやすく、非常に危険です。また電柱や電線に卡かかって断線、電柱倒壊等停電の原因になりますので、あらかじめ堅固に固定しておきましょう。

(2) アンテナや窓木の枝は大丈夫?



アンテナや窓木の枝が強風に倒れたり、折れたりして電線に触れると危険です。アンテナは堅固に固定し、窓木の枝等は、適当な高さで伐採しましょう。

地震や台風等でこんなとき

(1) 切れた電線や倒れた電柱等は絶対にさわらないで



- 中部電力および沖縄電力においては、JA等の農業従事者に対するお願いや、各自治体や産業保安監督部等の講演会にて、「台風対策 P R チラシ」を配布。
- 効果的なPRのためには、自治体等の関係機関と連携した対応が有効と考えられるため、本内容を好事例として全電力に水平展開し、更なる二次被害防止の P R 活動に努めて参りたい。

中部電力

中部電力 **台風対策** していますか?

中部電力からのお願い

強風によりビニールや畑の表面を覆うマルチ、看板が飛来すると電柱や電線に引っかかり、停電の原因となりますので、台風接近前の対策にご協力をお願いいたします。

台風接近前の停電予防のお願い

- マルチやビニールシートは土をかくて押さえましょう。
- 不要なビニール・マルチ等は片付けましょう。
- 老朽化した看板は撤去しましょう。

台風接近の際に、ハウスや管理小屋の補修を終えましょう。

ロープシートによる固定や早めの撤去でハウスのビニールの飛散を防ぎましょう。

台風通過後の事故防止のお願い

切れて垂れ下がった電線や電柱・電線に絡め付いたハウス等のビニールシートに触れると、感電などの恐れがあり大変危険です。絶対に近づかないで中部電力へご連絡ください。

連絡先 風面に記載されている「中部電力(株)ネットワークコールセンター」まで

沖縄電力

台風対策していますか?
～沖縄電力からのお願い～

● **台風接近前の対策のお願い**

- 台風時期の前に、ハウスや管理小屋の補修を終えましょう。
- ネット等での固定や早めの撤去でハウスのビニールの飛散を防ぎましょう。
- マルチはネットや土のうなどで押さえましょう。
- 不要なビニール・マルチ等は片付けましょう。
- 天気予報で台風をごまめに把握しましょう。

● **台風による停電**

- 強風による断線
- 電線への樹木接触
- 危険です: 垂れ下がった電線や電線に絡め付いたビニール・マルチ等を発見した場合は、触らず、速やかに周囲のユルセンサー一室でご連絡下さい。
- 落ちてしまった電線には触れない
- 落ちてしまった電線や電線に絡め付いたビニール・マルチ等は自分で取り除かないこと